

チェックリスト

2006.10.6作成

場所	項目	注意事項
外部	道路境界線 m 隣地境界線 m	南面から反時計回りで統一
	道路や公園等からの 出入口	採点者への配慮
	駐車場の位置と台数 (各部門)	車いす用寸法注意・台数確認
	駐輪場の位置と台数 (各部門)	台数確認
	ゴミ置場位置と数、面積 (各部門)	1~2ヶ所、屋外 (屋内指定の場合注意)
	建物の 出入口 (各部門)・スロープ	部門別のメイン 出入口に文字記入・スロープ1/15
	ドライエリア	煙突 (1階、2階他)・タラップ 地下車庫がある場合は無し
	地下の機械室も同時にチェック	範囲・面積・階段位置も同時確認
	2階の庇や屋根も同時に確認	出入口の部分に庇
	広場等の位置・面積確認	動線、上部庇バルコニー等の面積除外
	隣地境界のフェンスや植栽、テラス等	植栽もバランス良く配置する
	高低差・方位の確認	GL+ 記入
縦ライン	エレベーターの上下階の不整合	EV台数 (指定個数以外失格)・方向・位置・部門別ごとの配置
(1階~基準階)	階段・外部階段の上下階の不整合	方向・位置・階段4ヶ所・段数・扉開閉方向 (避難階)確認
	DS・PS上下階の不整合	位置と個数、寸法の確認 (DS:1ヶ所・PS:各階4ヶ所以上)
	吹抜の位置や面積	上下階の不整合・1スパン8X8まで・区画SS (シャッター)
	トップライトの位置	上下階の不整合
内部		
1階	主要室の 出入口	住宅部門 診療所部門 その他の部門ごと
	主要室の個数と面積や動線	住宅部門 診療所部門 その他の部門ごと
	便所、倉庫、更衣室等の指定居室の確認	
2階	主要室の 出入口	診療所部門 その他の部門ごと
	主要室の個数と面積や動線	診療所部門 その他の部門ごと
	便所、倉庫、更衣室等の指定居室の確認	
(法規)	2方向避難と重複距離	50m (25m)・内装は準不燃以上30m 無窓居室15m
	居室採光違反の確認	診療所部門 (ゲルム待合病室)・その他の部門ごと
基準階	日照による部屋の方向確認	
	主要室の 出入口とドアの開き	住宅部門
	主要室の個数と面積や動線	住宅部門面積・戸数
	主要な内部間取りの記入	採光等に誘導
	MB・PSの確認	位置と戸数
(法規)	2方向避難とメゾネットの場合の避難距離	階段・外部階段等のドア (セキュリティは配慮)
	居室の採光違反の確認	日照による方向、隣地境界線の離れによる採光
	道路斜線、北側斜線の違反	セットバック 塔屋などにも注意する
(寸法線)	寸法線の記入	数字の整合性、面積計算できる寸法記入、見易い

チェックリスト

2006.10.6作成

場 所	項 目	注意事項
断面図	切断位置と方向確認	平面の切断位置チェック
	建物の高さ・部屋の高さチェック	高低差のある場合注意
	梁・壁・床・窓・基礎の有無	構造の確認・スパン飛ばしは 懐 1.5m
	部屋名記入	文字は四角く 丁寧 に記入
	寸法線・FL記入チェック	
面積表	面積表の計算チェック	各階の計算がし易い様、 採点者への配慮 *これは慎重に行うこと(模試で大失敗) 除外項目 に注意する(非着床EV、ビロティ、住戸エントランスなど)
構造リスト	柱 700角または 800角の配筋の数と位置	かぶり厚 50・あき 2.5 cm かつ 1.5 d 以上
	梁の 400X800の配筋の数と位置	かぶり厚 50・あき 2.5 cm かつ 1.5 d 以上
コンセプト	コンセプト(キング)の大切さの配慮	広場・屋上広場 や ホール (天井高さ・ 景観)など重視
	動線 のバランスなどの印象度	文字など 丁寧 かどうか
最終チェック	番号、名前の記入	最初に書こう!
まとめ	<p>採点者は一枚当たり、20分の持ち時間</p> <p>コピーしたものをチェックするため、濃く記入を意識する。</p> <p>分かりやすい、見や易い、すっきりとした印象を与える。(複雑にすると醜い、嫌になる=見たくない)</p> <p>文字こそ丁寧に記入することで、丁寧な図面に印象度が上がる</p> <p>合格させたい図面を描く(落とさせたくない=勝ち残る図面 = 合格図面)</p> <p>これで一級建築士合格だ!</p>	